



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

# 機構ニュース

Vol.199 2019 December

## 今月の記事

### Top News

- 令和元年度人材育成セミナー「大学等の幹部教職員向けIRセミナー」を開催 ……1

### 学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

- 2,319人から学士の学位授与の申請  
-令和元年度10月期申請分-

……2

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

- 15人から博士の学位授与の申請  
-大学院博士課程相当の課程修了者-

……5

### 評価事業

- 国立大学法人等評価実務担当者研修会の開催 ……6

大学機関別認証評価等について

- 訪問調査の実施

……7

### 質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

- 「キャンパス・アジア」日中韓共同モニタリング委員会の開催 ……8

- 『国公立大学情報活用サイト』を提供開始

……9

### 機構の窓

- 会議の開催状況

……10

### 主要行事日程

- Schedule（12月～2月）

……11

## TOP NEWS

### ○ 令和元年度人材育成セミナー「大学等の幹部教職員向けIRセミナー」を開催

当機構は、令和元年11月11日（月）に学術総合センターの一橋講堂にて、令和元年度人材育成セミナーを開催しました。

当機構では、平成29年度より大学及び評価機関等の質保証に係る人材の能力向上を目的として、「人材育成セミナー」を開催しており、令和元年度は「IR（インスティテューショナル・リサーチ）」をテーマに、大学等の幹部教職員向けセミナーを11月に、実務担当者向けワークショップを1月に企画しています。今回は大学等の幹部教職員向けセミナーとして、関西学院大学総合企画部長の小野氏を招き、大学等の意思決定やその支援に関わる方々を中心に34名（教員20名、職員13名、その他1名）の参加がありました。

当日のプログラムは午後1時から始まり、長谷川理事の開会挨拶後、モデレーターである当機構の吉武研究開発部客員教授（首都大学東京理事）による趣旨説明において、IRが高等教育機関において重要視される背景の説明に始まり、大学におけるIR活動の取り組み状況や、海外での取り組み事例に触れることで、IRの重要性への理解を深めるとともに、本セミナーを実施する趣旨について、会場全体で意識を共有しました。

続いて、小野氏の講演では「総合的マネジメントのためのKGI・KPIの活用について」と題し、大学における中長期的な戦略を、いかに具体的な情報をもとに決定していくべきか、何をもちって成果とみなすべきかなど、講師自身の苦慮した経験と、実際に大学をマネジメントした実践事例について紹介がなされ、エビデンスベースの意思決定について理解を深めました。

全体討議では、前半に行われた発表への質疑応答を通して、関西学院大学での実践事例や参加者が抱える現状について理解を深めました。その後のグループディスカッションでは、これまでのプログラムで得られた知見をもとに、参加者同士で自身の現状や、大学で抱える課題について意見を交わし、その原因や課題の解決方法に関して活発な議論が行われました。

最後に、吉武客員教授及び小野氏からの講評をもって、セミナーは盛況のうちに終了しました。



趣旨説明をする吉武客員教授



講演を行う小野氏



全体討議の様子



グループディスカッションの様子

## 学位授与事業

### 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

#### ■短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

##### ○ 2,319人から学士の学位授与の申請 —令和元年度10月期申請分—

短期大学、高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等622人から、16専攻分野34専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和元年11月8日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、令和2年2月21日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には令和2年3月末までに学士の学位を授与する予定です。

また、短期大学、高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者1,697人から、9専攻分野17専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和元年11月8日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を経て、令和2年2月21日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には令和2年3月末までに学士の学位を授与する予定です。

#### <令和元年度10月期学士の学位授与申請者数>

##### （基礎資格別）

基礎資格	申請者数（人）
短期大学卒業者	587 [227]
高等専門学校卒業者	1,475 [1,470]
専門学校修了者	220
高校等専攻科修了者	5
大学中退者	20
飛び級	0
大学卒業生	12
外国資格	0
合計	2,319 [1,697]

##### （見込み申請者の内訳）

区分	申請者数（人）
短期大学専攻科修了見込者	595 [227]
高等専門学校専攻科修了見込者	1,473 [1,470]
合計	2,068 [1,697]

※ [ ]内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

※ [ ]内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

## (専攻の区分別)

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)
文 学	英語・英米文学	4
	歴史学	2 [2]
	哲学	1
	心理学	1
教育学	教育学	205 [114]
教 養	地域研究	1
学 芸	科学技術研究	1
法 学	法 学	4
経 済 学	経 済 学	1
経 営 学	経 営 学	4 [2]
理 学	数 学 ・ 情 報 系	4
	物 理 学 ・ 地 学 系	2
	化 学 系	1
	生 物 学 系	1
	総 合 理 学	1
看 護 学	看 護 学	314 [31]
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	20 [12]
	臨 床 工 学	2
	放 射 線 技 術 科 学	9
	理 学 療 法 学	25
	作 業 療 法 学	14
	言 語 聴 覚 障 害 学	13
鍼 灸 学	鍼 灸 学	1
口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	51 [25]
	口 腔 保 健 技 工 学	10
栄 養 学	栄 養 学	42 [21]

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）
工 学	機 械 工 学	345 [342]
	電 気 電 子 工 学	480 [478]
	情 報 工 学	221 [217]
	応 用 化 学	159 [159]
	生 物 工 学	26 [26]
	材 料 工 学	34 [34]
	土 木 工 学	139 [139]
	建 築 学	67 [66]
	社 会 シ ス テ ム 工 学	8 [7]
家 政 学	家 政 学	1
芸 術 学	音 楽	42
	美 術	46 [22]
	演 劇	17
合 計		2,319 [1,697]

※ [ ]内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

## 機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

### ■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

#### ○ 15人から博士の学位授与の申請 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛医科大学校医学教育部医学研究科の令和元年9月修了者15人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和元年11月8日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、医学・薬学専門委員会が指定されました。

専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、令和2年2月21日（金）開催予定の学位審査会で最終審査が行われ、令和2年2月28日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には防衛医科大学校を通して、博士（医学）の学位を授与する予定です。

#### <博士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数(人)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医学	15
合計		15

## 評価事業

### ○ 国立大学法人等評価実務担当者研修会の開催

当機構が実施する第3期中期目標期間の教育研究の状況の評価について、円滑な実施に資することを目的として、国立大学法人及び大学共同利用機関法人の評価実務担当者を対象に、8ブロックに分けて、下記の日程で研修会を実施しました。

会 場：学術総合センター 11階 1112会議室

時 間：10：00～17：15

開催日：令和元年10月28日（月）

29日（火）

31日（木）※1

11月 7日（木）

13日（水）※2

15日（金）

21日（木）

22日（金）



研修会の様子  
（神田カンファレンス・ルーム）

※1 神田カンファレンス・ルーム セミナールーム1で開催

※2 12：00～17：15にて開催

当研修会は、各ブースに分かれて90分間の個別相談形式で行われ、全90法人から349名の参加がありました。各ブースにおいて、当機構の担当者より「第3期中期目標期間の教育研究の状況についての評価に関するQ&A」、「達成状況評価及び現況分析における共通方針」、「研究業績水準判定に関するシステムの使用」等についてそれぞれ説明をした後、各法人の評価実務担当者との間で活発な質疑応答が行われました。



研修会の様子  
（学術総合センター）

※上記研修会の配布資料は当機構の[ウェブサイト](#)に掲載しています。

## 機関別認証評価等について

### ○ 訪問調査の実施

令和元年9月から、大学、高等専門学校及び法科大学院の評価対象校に対し、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、対象校関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対象校の状況を調査すること等を目的とした訪問調査を実施しました。今後は書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。

## 質保証連携

### 国内外の質保証機関等との連携

#### ○ 「キャンパス・アジア」日中韓共同モニタリング委員会の開催

令和元年11月6日（水）、「キャンパス・アジア」モニタリング+（プラス）の日中韓共同モニタリング委員会を、中国・北京にて中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC: Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education）の主催により開催しました。

モニタリング+は、日中韓政府により共同採択された「キャンパス・アジア」プログラムに対し、書面や訪問による調査等を通じて、プログラムの質を確認し、優良事例等を抽出する取り組みです。当機構、中国HEEC、韓国大学教育協議会（KCUE: Korean Council for University Education）の3カ国の質保証機関が連携して、共同質保証ガイドラインに基づき、平成30年度より令和元年度にかけて書面調査、訪問調査、及びモニタリング結果のとりまとめを進めてきました。

本委員会は、3カ国の質保証機関が協働し、モニタリング+の結果を総括した「共同モニタリング報告書」の承認等を目的として、3カ国の質保証機関によって任命されたモニタリング委員と、質保証機関の担当教職員の計18名が参加しました。

各質保証機関からプログラムごとのモニタリング結果を報告したのち、「共同モニタリング報告書（案）」が満場一致により承認されました。同報告書については、本年12月に各質保証機関のウェブサイトにて公開される予定です。また、モニタリング+の成果発信方策について確認するとともに、現在日中韓3カ国の政府間で検討が進められている次期キャンパス・アジア（第3モード）における質保証の在り方について意見を交わしました。



会合の様子



会合出席者の集合写真

## ○ 『国公立大学情報活用サイト』を提供開始

当機構の大学ポートレートセンターは、大学ポートレートによる教育情報の公表に加え、関連して収集した情報を有効に活用することも目標としています。このため、令和元年11月27日（水）、国公立大学等の教職員の利用を目的とした「国公立大学情報活用サイト」の提供を開始しました。



「国公立大学情報活用サイト」

当機構では、大学ポートレートによる教育情報の公表にあたり、その一部データを転記するため国公立大学等の「大学基本情報」を大学から収集するとともに、各大学のデータを集約して一覧化したExcelファイルをWebサイトで公表しています (<https://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>)。しかし、大学のIR担当者等がこれらのExcelファイルから必要な情報を取り出して、グラフ等の形式で可視化するためには、作業の手間がかかってしまうという課題がありました。

今回、大学間でのデータ共有を目的として提供する「国公立大学情報活用サイト」では、ビジネスインテリジェンス (BI) ツールを用いることで、より簡易な操作でグラフ等を出力することが可能となっています。国公立大学等の大学教職員は、大学名等を選択するなどの基本的な操作を行うだけで、自大学や他大学のデータを動的に可視化し、ベンチマーキングすることができます。これにより、大学教職員が各大学の基礎的な情報を把握して、内部質保証の一助としていただくことが期待されます。今後も当機構では、大学のニーズに基づき、データやグラフの充実を図るなど、情報活用の支援に取り組んでいく予定です。

### 【「国公立大学情報活用サイト」で閲覧できる主な情報】

- 教職員数（女性教員割合、外国人教員割合 等）
- 学生数・入学者数（休学者割合、出身別入学者割合 等）
- 外国人学生数（留学生割合、国別割合 等）
- 卒業生の割合（進学率、職業別就職割合 等）

## 機構の窓

### ○ 会議の開催状況

#### ・学位審査会

第3回 令和元年11月8日（金） 15時00分～16時30分

議事

- 1 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学位取得者数について
- 2 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の付託について
- 3 認定課程修了者等に係る学士・修士及び博士の学位授与の審査について
- 4 短期大学の専攻科の認定に係る審査の付託について
- 5 特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の付託について
- 6 その他

## 主要行事日程

### ○ Schedule

12月

日	行事名	担当課
8日	令和元年度10月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
10日	<a href="#">大学ポートレートステークホルダー・ボード</a>	評価企画課
15日	令和元年度10月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課

1月

日	行事名	担当課
13日～ 2月28日	イタリアCIMEAとのスタッフ交流（派遣）	国際課
22日	<a href="#">大学機関別認証評価委員会（第3回）</a>	評価支援課
24日	<a href="#">高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）</a>	評価支援課
29日	<a href="#">大学ポートレート運営会議（第12回）</a>	評価企画課
30日	<a href="#">法科大学院認証評価委員会（第3回）</a>	評価支援課
31日	<a href="#">令和元年度人材育成セミナー「大学等のIR実務担当者向けワークショップ」</a>	評価企画課

2月

日	行事名	担当課
5日	<a href="#">国立大学教育研究評価委員会（第56回）</a>	評価企画課
21日	<a href="#">学位審査会（令和元年度第4回）</a>	学位審査課
28日	学位記伝達式・講評	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

